

会員各位

第 55 回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会の開催延期について

平素より本学会の事業にご理解ご協力を頂き、感謝申し上げます。

大変残念ではございますが、第 55 回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会の開催延期についてご連絡をしなければなりません。会員の皆様には多大なご迷惑をお掛け致しますことをお詫び申し上げます。

COVID-19 では、5 月末（5 月 25 日）時点で、国内累計 16,581 名の感染者、830 名の死者となり、国内外に甚大な被害を生じております。犠牲となられた皆様に、心からのご冥福をお祈り申し上げます。4 月の感染ピーク時には医療崩壊とも考えられる現場の混乱もあり、医療従事者の皆様は極めて厳しい環境での対応が続いていることと思います。発症前から感染性を有するこの特異なウイルスは、社会生活や経済活動を変貌させ、生活様式の変容を余儀なくされております。医療現場においても新たな感染症に対応すべく、体制の変化も求められております。

今秋開催予定でした第 55 回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会については、約半年後の開催であり今後急速に感染状況が改善する可能性も残しますが、感染第 2 波も懸念される中、全国の医療資源や開催地沖縄の救急医療の状況や、国内移動のリスク、会場のマスクギャザリングのリスクなども鑑み、先日 5 月 10 日の理事会にて開催延期について慎重に協議を行いました。その結果、会員の皆様には多大なご迷惑をお掛け致しますが、第 55 回の学術総会については本年の開催を断念し、1 年間の延期として来年の同じ時期に沖縄にて開催とさせて頂きました。2021 年の学術総会についても、今秋同様、医療法人沖縄徳洲会南部徳洲会病院高気圧治療部、救急診療部長の清水徹郎先生に会長をご依頼致しました。

幸い 2020 年 5 月 25 日には、全国的に緊急事態宣言が解除されました。国際的にもワクチンや新薬の開発が急速に進行中であり、病態が少しずつ明らかになる中、治療法も進歩してきております。早期に COVID-19 が終息することを望み、来年の学術総会が無事開催されますことを心から願っております。

会員の皆様のご理解とご協力を、何卒宜しくお願い申し上げます。

2020 年 5 月 26 日

一般社団法人日本高気圧環境・潜水医学会

代表理事 柳下和慶